

# L I M

# お盆

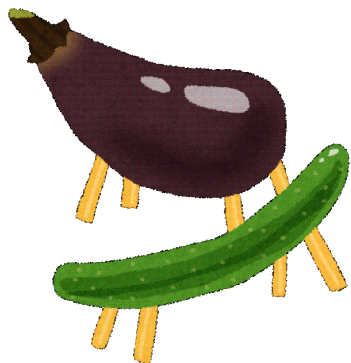
## ◆ 日本の夏の風物詩

古くから日本各地に根付いたお盆の風習。時期は地域的に差があり、東京や横浜、静岡、金沢などが7月15日、沖縄や奄美地方などは旧暦の7月15日、その他は全国的に8月15日とされています(東京都の市部などでは8月1日もあります)。

いつ頃から始まったのかは定かではありませんが、8世紀頃には夏に先祖を供養する風習があったようです。



## ◆ ご先祖様をお迎えする準備はできていますか



全国的には1日を釜蓋朔日(かまぶたついたち)と言い、地獄の釜の蓋が開く日とされており、お盆はこの日から始まります。この時期は水辺に近づかないように言われた方も多いのでは？そして13日頃に迎え火を焚き、15・16日頃に盆踊り、併せて送り火でご先祖様をお送りします。

送り火として有名なのは京都で15日に行われる五山送り火、16日に奈良で行われる高円山大文字送り火があります。川や海が近い場所では灯籠流しを行う地域もありますね。

## ◆ お盆休みもありますね

私たちの実際の生活では、お盆休みが重なります。各学校の夏休みも重なるので、帰省ラッシュで鉄道も道路も空港も大混雑になることも毎年珍しくありません。また、この時期は各公共交通機関やホテル、旅館の割引などが無かったりしますが、逆に夏休み期間限定の近距離の周遊切符が販売されるなど、都心から人が少なくなるので、近場のイベントに行くにはいい機会かもしれません。



帰省する方も、自宅で過ごす方も思い思いの過ごし方で楽しいお盆休みを過ごしましょう。



我が家の迎え火を焚いた日の夕食は祖父の好物だったカレーライスと生トマトです。